

きりしまっ子の基礎学力

〔平成30年度鹿児島学習定着度調査結果から〕

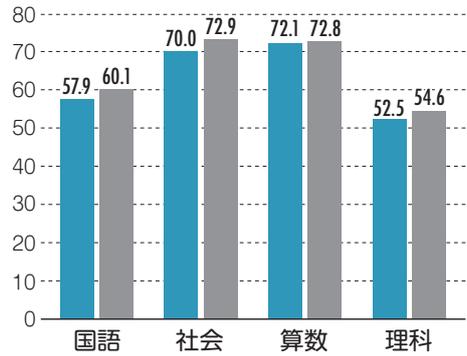
県教育委員会では、1月に県内全ての公立小学5年、中学1・2年を対象に「鹿児島学習定着度調査」を実施しました。この調査は、学力の「基礎・基本」を問う問題と実生活の中で知識を活用する力などを問う「思考・表現」の問題が盛り込まれています。

■結果の概要

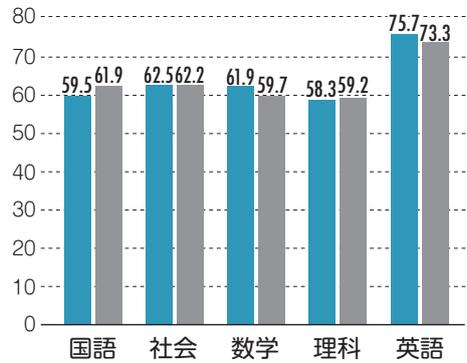
●霧島市の小学校

小学5年(現6年)では、*1通過率が全ての教科で県の平均に達していません。近年、県の平均を下回る状況が続いており、課題となっています。

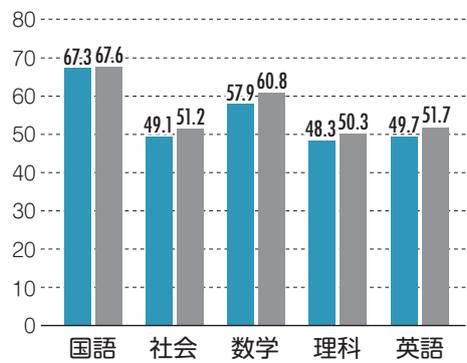
小学5年(現6年)の全体の通過率



中学1年(現2年)の全体の通過率



中学2年(現3年)の全体の通過率



*1 各設問ごとに正答した児童生徒の数を、調査実施児童生徒数で除したもの。

●霧島市の中学校

中学1年(現2年)では、小学校5年の調査時は全ての教科で県の平均を下回っていましたが、今回は数学・英語で県の平均よりも2ポイント以上、上回るなど改善が見られます。

中学2年(現3年)では、全ての教科で県平均に達していません。中1の調査時に県平均を下回った教科の課題が継続しています。

■教育委員会や学校の取り組み

これらの結果を踏まえ、次のような取り組みを行います。

・子どもたちが事前に家庭で学んだり調べたりしてきたことを授業で活用する「*2授業運動型家庭学習」の実践を通して、確かな学力の向上を目指していきます。

■家庭学習と授業の連動

子どもが保護者に割り算の意味を説明したり、ゴミを減らすために家族でできることを話し合ったりすることで、学習したことが次の授業でどのように活用されるのかワクワクした気持ちで授業に臨むことができます。また、授業では家庭での子どもの頑張りを認め、子どもの考えや思いを引き出しながら、学習意欲を高め、学習内容の確実な定着につなげます。

◎問II 学校教育課 ☎(64)0707

※2 授業運動型家庭学習

家庭学習

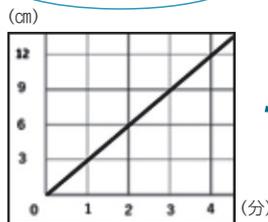
授業で配布した目盛り付きのテープを用い、自宅の浴槽に貼り付け蛇口をひねり、かかった時間と溜まった水の量との関係を表にまとめる。

⇒マイデータをもつ

(児童) うちのお風呂は20分で一杯になった。みんなはどうなっているのかな？

時間(分)	0	1	2	3	4	...
深さ(cm)	0	3	6	9	12	...

(児童) みんな調べたデータは違うのに、グラフの形は同じだよ!



授業

「比例を使った問題」

家庭学習で児童一人一人が表にまとめたデータを用い、「比例関係にある2量」を式やグラフに表したり、1つの量が分かっているときに他方の量を求めたりしながら、比例についての理解を深める。

(授業者)

データを互いに見比べる時間、じっくり考え、グラフを作成する時間、分かったことを説明し合う時間など、児童主体の時間が授業で20分もとれた!